

ロンドンパラリンピックジャパンハウスオープン ～ロンドンパラリンピック関連イベントのご紹介～

ロンドン事務所

8月29日(水)、自らも障害者である英国の物理学者ホーキング博士のスピーチと博士の専門分野である宇宙のビッグバンを表した花火ではじまった、盛大な開会式が行われ、ロンドン2012パラリンピック競技大会(第14回夏季大会)が開幕しました。9月9日(日)まで、160カ国・地域から、日本の代表選手135人を含む約4,200人の選手が参加し、20競技、503種目でメダルを競います。

今回は、ロンドンパラリンピック開催中に東京都が特定非営利活動法人東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会と公益財団法人日本障害者スポーツ協会日本パラリンピック委員会(JPC)の特別協賛を受けて開設する「2012ロンドンパラリンピックジャパンハウス」についてご紹介いたします。



ジャパンハウスの様子

ジャパンハウスは、パラリンピック日本代表選手団の応援拠点として情報提供を行うとともに、海外招致活動を除く東京2020オリンピック・パラリンピック招致活動を推進するほか、ロンドンにおけるパラリンピック期間中のJPC役員の活動拠点としても使用されます。ジャパンハウスが設置さ

れているのは、パラリンピック競技会場の1つであり、ボッチャ、パワーリフティング、卓球、柔道、車いすフェンシング、シッティングバレーボールが行われるエクセルの至近に立地するホテル「ノボテル・エクセル」の2階です。最寄り駅はDLR(Docklands Light Railway)のCustom House for Excelで、メインスタジアムや選手村等があるオリンピックパークの最寄り駅であるStratfordにもDLRや地下鉄を利用してわずか15分ほどと便利です。

ジャパンハウスでは、日本代表選手のロンドンパラリンピック大会の出場スケジュール、最新の競技結果の情報提供のほか、パラリンピックスポーツそのものを知ってもらうため、全競技のパネルの展示、ロンドンパラリンピックを生中継で観戦することができる大画面の

テレビモニターも設置しています。さらに、車椅子バスケットボールを体験するための車椅子



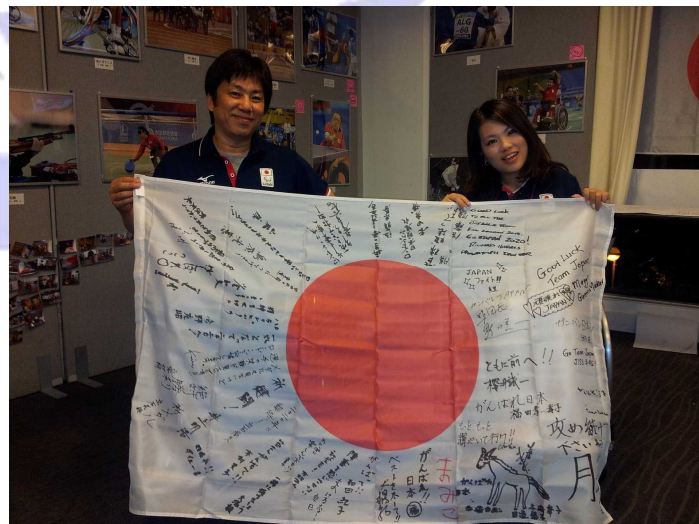
ジャパンハウススタッフの根木さんと、
車椅子バスケットボール用車いすに座る秋山東京都副知事

長の根木さんがスタッフとして対応されており、パラリンピックの体験談や障害者スポーツの素晴らしさ、楽しさを伝えています。

◆根木さんのコメント◆

「ジャパンハウスでは、日本代表選手の競技日程やパラリンピックの見どころをパラリンピアン視点で紹介しています。また、個々の選手の背景も含めて、パラリンピック競技に出会ってからロンドン大会に出るまでの秘話を紹介しています。

日本選手への応援メッセージを来場者の方をお願いしていますが、非常にたくさんの寄せ書きをいただいております。その中には 2020 東京招致の声もあります。パラリンピックの力や素晴らしさを多くの方々に感じていただいていることがわかります。そして、車椅子バスケットボールの体験コーナーも設置しておりますが、非常に人気で、車椅子を体験することで競技の魅力



応援メッセージの寄せ書きが書かれた日本国旗を掲げる
ジャパンハウスの根木さんと山本さん

やむずかしさなどを理解していただいています。スポーツを通じて、様々な方々に出会えることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。これまでは競技をする立場でパラリンピックと関わっていましたが、今回は応援する立場としてジャパンハウスで多くの方々にパラリンピックの魅力を伝えられることを非常にありがたく思っています。日本人選手の活躍を期待す

るとともに、より多くの方々にパラリンピックの楽しさを感じていただけることを期待しています。」

おわりに

このほか、「ロンドン 2012 パラリンピック競技大会日本代表選手団選手名鑑」や「パラリンピックガイド～夏季大会編～」など、パラリンピック代表選手や競技について学べるパンフレット等を配布しているほか、日本人選手団を応援するため、日本国旗の手旗を配布しています。

パラリンピックジャパンハウスは、開催期間中、9月9日までの毎日、9時から 21 時まで開設しています。これから9月9日の閉会式までの間、ロンドンパラリンピックでの日本代表選手団の活躍と、ジャパンハウスの活況に期待したいと思います。

(川那子参事役 東京都派遣)

